

第100回国際大会報告書

(米国イリノイ州・シカゴ 2017年6月30日-7月4日)

I. 国際役員を選出

7月2-4日にマコーミックプレイスで行われた投票で、本年度国際役員が別紙1の通り選出されました。

国際会長には、インドのNaresh Aggarwal 元国際第一副会長(321-D地区・Batala Smile LC)、国際第一副会長にはアイスランドのGudrun Bjort Yngvadottir元国際第二副会長(109-A地区・Gardabaejar Eik LC)、国際第二副会長には、韓国のJung-Yeol Choi元国際第三副会長(355-A地区・Pusan (First) LC)、国際第三副会長には、米国ジョージア州のHaynes H. Townsend元国際理事(18L地区・Dalton Noon LC)が選ばれました。東洋東南アジア地域からの国際理事として、日本から佐藤 義雄元地区ガバナー(334-E地区・戸倉上山田LC)、中国からAlice Chitning Lau元地区ガバナー(381地区・Dream Achievement LC)、韓国からDoo-Hoon Ahn元地区ガバナー(354-C地区・Eulji MJF LC)、マレーシアからDatuk K. Nagaratnam元議長(308-B1 地区、Malacca LC)が選出されました。また、国際大会後の国際理事会において、山田實紘元国際会長が国際理事会アポインティに任命されました。

II. 2017-2018 年度国際理事会委員会

日本からの国際役員の所属委員会は次の通り。

山田 實紘 元国際会長	国際理事会アポインティ 財務及び本部運営委員会
中村 泰久 国際理事	地区及びクラブ・サービス委員会、監査委員会
佐藤 義雄 国際理事	大会委員会

III. LCIF国際役員

山田 實紘 元国際会長	LCIF執行理事会アポインティ、LCIF 国際理事
栢森 新治	LCIF国際理事(会則地域V、3年任期 2年目)
鈴木 誓男	LCIF国際理事(会員一人あたりの寄付額が2番目に多い国、2年任期 2年目)

IV. 国際会則の改正

7月2-4日にマコーミックプレイスで行われた投票により、上程された改正案はすべて可決されました。

V. 新国際会長の就任

閉会式でアガワル新国際会長の就任セレモニーが行われました。

カラー顔写真は国際協会 HP(日本語版)からダウンロードしてください。

国際会長【写真】ダウンロード先:

http://www.lionsclubs.org/cs-assets/files/images/page-images/presidents/aggarwal_big.jpg

2017-2018 年度から 3 年間は国際テーマは『ウィ・サーブ』、詳しくは次の国際協会ウェブサイト(日本語版) URL からダウンロードしてください。

http://www.lionsclubs.org/resources/JA/pdfs/aggarwal-presidents-theme.pdf?utm_source=RealMagnet&utm_medium=email&utm_campaign=6801%2DAuspicious%20Momentum%20JA

VI. 国際コンテスト

国際大会の際に行われたコンテスト及びインターナショナルパレードについて日本からの入賞はありませんでした。

VII. 表彰

(1). ライオンズ人道主義大賞(Humanitarian Award)

自らの経験からスタン・ブロック氏が創設した非営利組織「リモート・エリア・メディカル(RAM)」は、長きに渡り、世界中で治療を受けられない人々に無料医療を提供した功績により、7月4日の閉会式で人道主義大賞を受賞、今後の支援に25万ドルが贈呈されました。RAMについては以下のURLをご参照ください。

リモート・エリア・メディカル(RAM)

<https://ramusa.org/>

(2). LCIF

① 7月3日に行われた二日目総会にて次の通りの表彰がありました。

☆ 10万ドル以上の献金者

L. 岡本 昭(335-B 地区・大阪天王寺 LC)

☆ 理事長メダル (Diamond、100万ドル以上の献金地区)

L. 垣見 正則(334-A 地区ガバナー兼 LCIF 地区コーディネーター)

② 7月3日に行われた MJF 昼食会にて次の通りの表彰がありました。

☆ 日本の新たな 200% MJF クラブ

名古屋 MJF LC(334-A 地区)

☆ 日本の新たな 100% MJF クラブ

東京新橋 LC(330-A 地区)

☆ Humanitarian Partner (Silver Diamond、20万ドル以上の献金)

L. 岡本 昭 (335-B 地区・大阪天王寺 LC)

☆ Humanitarian Partner (Bronze Blue Sapphire 14万ドル以上の献金)

L. 小野寺 眞悟 (331-A 地区・札幌北の杜 LC)

L. 有野 勇 (335-D 地区・三木中央 LC)

☆ Humanitarian Partner (Bronze Diamond、10万ドル以上の献金)

- L. 安澤 莊一 (332-D 地区・白河小峰 LC)
- L. 榎本 舜治 (334-A 地区・美浜 LC)
- L. 北野 憲太郎 (334-D 地区・福井中央 LC)

③ 7月2日に行われた LCIF メルビン・ジョーンズ・フェローピン贈呈式にて山田 2016-2017 年度 LCIF 理事長から次の通りピンが贈られました。
(対象者:当日国際大会会場にてMJF献金をされた方々です。)

- L. 高野 倫行 (331-A 地区・札幌グリーン LC) Distinct Emerald PMJF (8万1千ドル以上の献金)
- L. 大工園 隆 (335-C 地区・京都東 LC) 1 Blue Sapphire White Gold PMJF (3万2千ドル以上の献金)
- L. 夏 有民 (335-B 地区・大阪南 LC) 9 Yellow Sapphire White Gold PMJF (3万ドル以上の献金)
- L. 西木 宣雄 (335-B 地区・大阪大正 LC) 4 Yellow Sapphire White Gold PMJF (2万5千ドル以上の献金)
- L. 加藤 万寿夫 (334-B 地区・土岐織部 LC) 9 Diamond PMJF (1万ドル以上の献金)
- L. 芝軒 義一 (335-A 地区・尼崎琴の浦 LC) 3 Diamond PMJF (4千ドル以上の献金)

(3). 国際平和ポスター・コンテスト

2016-2017 年度国際平和ポスター・コンテスト大賞は、Lakkana・Meepara さん (Bangkok Pinklao LC スポンサー・タイ)、日本から山根 ^{やまね ゆい} 結さん (江別 LC スポンサー・331-A 地区) と伊藤 ^{いとう あいり} 愛梨さん (西条石鎚 LC スポンサー・336-A 地区) が優秀賞を受賞しました。

(4). 国際作文コンテスト

視覚障がいのある青少年を対象とした 2016-2017 年度国際作文コンテスト大賞は、Charlie Bruskotter さん (Delaware LC スポンサー・米国オハイオ州) が受賞されました。

VIII. 初日総会(7月2日)

基調講演として、アメリカ合衆国元副大統領アル・ゴア氏から、緊迫する近年の地球環境変化についての最新のデータをもとにスピーチがありました。

IX. 二日目総会(7月3日)

パン・ギムン(潘基文)前国際連合事務総長から国際協調の重要性を訴える感動的なスピーチがありました。

X. 閉会式(7月4日)

グラミー賞受賞ソウルシンガーのパティ・ラベルさんが自身の糖尿病への取り組みについて基調講演およびパフォーマンスを行いました。また、ケラー・ジョンソン・トンプソンさんが、ライオンズに盲人の騎士となることを呼びかけた大伯母故ヘレン・ケラーの講演の再現パフォーマンスを行いました。

XI. 参加代議員及び補欠数(7月4日閉会式発表)

7月4日閉会式時点の発表では、全世界からの投票代議員数は6,652名でした。秋季国際理事会において公式に発表される予定です。

XII. シカゴ国際大会の大会登録者数

大会登録者数について現時点でLCIから公式発表はありませんが、7月2日の日本語セミナーで中村国際理事から当日時点で全世界で28,684名、日本から2,223名の大会登録があった旨の発表がありました。公式な登録数は例年秋季国際理事会にて発表される予定です。また、日本からのパレード参加者数は1,500名前後とのことです。

XIII. 各種セミナー

今大会では日本語通訳のあるセミナーが多く、日本から多くの参加がありました。

(1) 「ライオンズメンバーが退会する理由と維持する方法」(6月30日)

各国共通及び国別の会員維持の可能性について、Market Measurement社ヘンドリックソン社長が、10ヶ国に渡って行ったミレニアル世代、新会員、終身会員、退会会員に関するアンケートの分析結果を発表し、説明しました。

(2) LCI フォワード: 私たちの未来(6月30日)

LCI サンジープ・アフジャ マーケティング及び会員チーフから、LCI フォワード実施に向け、モバイルアプリ「MyLION」を一部地域で導入開始、今後全世界で展開する旨の説明がありました。同アプリによりマーケティングの自動化とともに、会員個人に合ったコミュニケーション及び若い世代の加入を目指すとのことでした。

(3) グローバルアクションチーム: 指導力育成、会員増強、奉仕を統合! (6月30日)

ウインケン・タム元国際会長からこれまでのGLT、GMTにGST(グローバル奉仕チーム)を加わり、GAT(グローバルアクションチーム)として始動、2020年までにライオンとレオの会員数を170万人に増やし、50万人以上の会員に学習の機会を提供するビジョンなどについて説明がありました。

(4) ライオンズ 100 周年記念(6月30日)

フランク・ムーア元国際会長から100周年を記念してレガシープロジェクト、メルビン・ジョーンズ墓地修復を含む様々の事業例が報告されました。村木秀之 330-A 地区ガバナークラからも薬物濫用防止パレード(2016年10月29日、東京・銀座にて)の実施報告がありました。また、100周年記念事業については2018年ラスベガス国際大会まで継続する旨の発表がありました。

(5) ビジネスセッション(7月1日)

従来2日目総会の中で行っていた選挙及び投票関連事項について、今大会から別途ビジネスセッションが開催されました。各国際理事候補者の紹介があり、各理事候補者及び推薦者1名が登壇、スピーチを行いました。議事規則委員会からの報告や指名委員会からの予備報告、会則及び付則委員会からの報告がありました。

(6) 日本語セミナー ライオンズサミット(7月2日)

日本から多くの参加があり、LCIF 鈴木誓男国際理事がプレゼンターを務められました。特別プレゼンテーションとして、ヘルムーツ・マーハウア国際理事及びダニエル・イゼン

リッチMD111 元議長から、ドイツ国際平和村支援状況の報告、マノージャ・シャー元国際理事から、411-A地区ケニアのカアニ保育園園舎建設進捗状況報告がありました。また、国際理事から国際理事会最新情報もたらされました。

(7) **OSEAL の 100 周年ストーリー(7月2日)**

高田元国際理事が進行役を務められ、レガシープロジェクトのオセアル地域の実施例として、村木秀之 330-A 地区ガバナーから薬物濫用防止パレード(2016年10月29日、東京・銀座にて)および内田吉則 330-B 地区 100 周年記念コーディネーターから LCI 日本庭園の整備及び修復の報告がありました。

(8) **LCI フォワード: 将来の奉仕モデル(7月3日)**

LCI サンジーブ・アフジャ マーケティング及び会員チーフから、メンバーと LCI をつなぐプラットフォーム型の新しい奉仕モデル、モバイルアプリ「MyLION」によるインターネットを活用、拘束時間の少ない奉仕の将来の在り方が提案されました。従来のクラブのシステムも継続しながら、今後ボランティアの単発参加受け入れなど、奉仕の価値と意義を重視するがなかなか入会しない若い世代を呼び込む取組みを行う展望について説明がありました。

XIV. 今後の国際大会の日程と開催地

- <第 101 回> 2018 年 6 月 29 日～7 月 3 日 米国・ネバダ州ラスベガス
- <第 102 回> 2019 年 7 月 5 日～9 日 イタリア・ミラノ
- <第 103 回> 2020 年 6 月 26～30 日 シンガポール
- <第 104 回> 2021 年 6 月 25～29 日 カナダ・ケベック州モントリオール
- <第 105 回> 2022 年 7 月 1～5 日 インド・ニューデリー
- <第 106 回> 2023 年 7 月 7～11 日 米国マサチューセッツ州・ボストン
- <第 107 回> 2024 年 6 月 21～25 日 オーストラリア・メルボルン

2017 年 7 月 25 日
一般社団法人 日本ライオンズ